

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査結果 久喜市 英語

	全体	中1	中2	中3
平均 正答率	久喜市		60.3	61.5
	埼玉県		58.2	59.2
久喜市 レベル (平均)	H27(前学年時)			9-B
	H28		8-A	9-A
	学力の伸び			1

調査の結果から見てきた児童・生徒の様子

- 中2、中3ともに平均正答率は、県平均を上回っており、学力の伸びも見られる。
- 領域別においても、全ての領域で県平均を上回っている。
- 「読むこと」においては、全体的に正答率が高い傾向である。

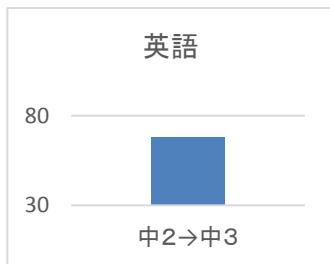
領域別		中1	中2	中3
聞くこと	久喜市		63.3	67.1
	埼玉県		60.6	65.5
話すこと	久喜市		—	—
	埼玉県		—	—
読むこと	久喜市		59	64.2
	埼玉県		57.4	61.9
書くこと	久喜市		59.8	44.6
	埼玉県		57	41.5

課題が見られる内容

- 適切な前置詞を選んだり、情報をたずねる英文を組み立てたりする問題の正答率が低い傾向である。
- 質問の応答として適切なものを選択する問題の正答率が低い傾向である。
- 多くの表現を用いた英文記述の練習とともに、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」を含めた基礎的・基本的な日常の指導を大切にする必要がある。

【伸びた児童・生徒の割合】

	中2→中3
英語 (%)	68.3



平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査結果 久喜市 質問紙調査

- 勉強する理由について、「勉強することが楽しい、好きだから」が当てはまる、どちらかといえば当てはまるの割合が、学年が上がるにしたがって低くなっていく傾向がある。
- 「じぶんにはよいところがあると思う」や「将来の夢や目標を持っている」割合は、県平均を下回っている学年もある。
- テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする割合に比べて、テレビゲームをすることについて、家の人と約束を決めているという割合が低い傾向である。
- 授業における指導法の工夫改善を今後も行っていく。また、「子どもたちがスマホ・ケータイを上手に使う久喜市のルール」の内容について、再度確認し啓発する必要がある。